

◆課題研究活動について

読解力・科学的リテラシーについて

資料4

	国際大会出場	国際大会入賞	全国大会出場のみ	全国大会入賞	府大会出場のみ	府大会入賞	(参考) 科学技術コンテストの出場者数	評価
北野			原子力科学オリンピック	Japan Geoscience Union Meeting 優秀賞1(最優秀賞1、優秀賞3、奨励賞22、総発表数127)	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	科学の甲子園 大阪府大会 6位入賞	日本数学オリンピック 1	B
			全国高等学校模擬国連大会		大阪府生徒研究発表会(第1部)	京都・大阪・マスインターセクション 奨励賞1	化学グランプリ 1	
			日本動物学会ポスター発表	化学グランプリ 銅賞1	大阪府生徒研究発表会(第2部)		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 1	
			日本天文学ジュニアセッション	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 銅賞1			日本情報オリンピック 1	
			日本地学オリンピック(本選)				日本地学オリンピック 1	
豊中			令和7年度SSH生徒研究発表会		グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	科学の甲子園 大阪府大会 6位入賞	日本数学オリンピック 1	C
			全国数学生徒研究発表会(マスフェスタ)		大阪府生徒研究発表会(第1部)	京都・大阪・マスインターセクション 奨励賞1		
			全国高校生フォーラム		大阪府生徒研究発表会(第2部)			
			サイエンスファーム		生徒生物研究発表会			
			SCI-TECH RESEARCH FORUM					
			高校生・私の科学研究発表会					
			中高生情報研究コンテスト					
			甲南大学リサーチフェスタ					
			はばたけ未来の吉岡彌生賞					
茨木			全国高校生マイプロジェクトアワード					B
			日本哺乳類学会 学会発表	オレンジページ×味の素 ジュニア料理選手権 オレンジページ賞1(グランプリ4、準グランプリ8、優秀賞12、特別学校賞2、味の素神賞10、ヤマキ賞10、AGF賞10、J-オイルミルズ賞10、オレンジページ賞10)	大阪府生徒研究発表会(第1部)	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会 大阪大学賞		
					茨木市人権作品コンクール	大阪府生徒研究発表会(第2部) 銀賞1		
						科学の甲子園 大阪府大会 3位入賞		
						大阪府青少年読書感想文コンクール高等学校 特選1(特選2、優秀4、佳作3)		
大手前	Miracle@Science(韓国慶北教育庁)		令和7年度SSH生徒研究発表会	税に関する高校生の作文 中央区租税教育推進協議会 会長賞1、公益財団法人東納税協会 会長賞1	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	大阪府生徒研究発表会(第2部) 銀賞1	日本数学オリンピック 8	B
			全国数学生徒研究発表会(マスフェスタ)		大阪府生徒研究発表会(第1部)	大阪府学生科学賞 大阪府教育委員会賞1	日本生物学オリンピック 2	
			科学地理オリンピック日本選手権(本選)	坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト 佳作1	科学の甲子園 大阪府大会		日本情報オリンピック 10	
				日本生物教育学会議第110回全国大会 高校生ポスター発表奨励賞	京都・大阪・マスインターセクション		科学地理オリンピック日本選手権 8	
				日本情報オリンピック(本選) 敢闘賞1	連数協シンポジウム			
四條畷			令和7年度SSH生徒研究発表会	化学グランプリ 銅賞1・近畿支部支部長賞 1	大阪府生徒研究発表会(第1部)	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会 大阪府教育委員会賞	日本数学オリンピック 23	A
			全国数学生徒研究発表会(マスフェスタ)		生徒生物研究発表会	大阪府生徒研究発表会(第2部) 優秀賞1、金賞1、銀賞1	化学グランプリ 4	
			第98回日本生化学会大会高校生発表		第2回GLHS社会科学系研究発表会	科学の甲子園 大阪府大会 4位入賞	日本生物学オリンピック 1	
					Meet the Kyodai Chemistry in Katsura Campus 2025	京都・大阪・マスインターセクション 優秀賞2	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 2	
					中高生探究の集い	日本数学オリンピック 地区表彰2	日本情報オリンピック 71	
高津					AcademiQ Summit2025			B
			令和7年度SSH生徒研究発表会	グローバルサイエンティストアワード“夢の翼” 奨励賞1(最優秀賞1、優秀賞6、共催賞2、協賛企業賞10、審査員賞2)	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	大阪府学生科学賞 優秀作品・大阪府教育委員会賞1、佳作1(最優秀作品6、優秀作品6、学校賞1、佳作)	日本数学オリンピック 8	
			高校化学グランドコンテスト		大阪府生徒研究発表会(第1部)		日本生物学オリンピック 5	
			ハイス쿨ラジエーションクラス	マイクロマウス関西地区大会特別賞2(優勝1、特別賞3、団体賞1)	大阪府生徒研究発表会(第2部)		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 3	
			第3回 ドローンプログラミングチャレンジ全国大会	Technovation Girls 2025文部科学大臣賞1(文科大臣賞1、メットライフ財団賞、Lenovo賞、NTTグループ賞、Salesforce賞、日本総研賞、Unity賞)	科学の甲子園 大阪府大会		日本情報オリンピック 2	
			宇宙甲子園缶サット部門		京都・大阪・マスインターセクション		日本学生科学賞出品数(出品数) 2	
			ロボカップジュニア和歌山ノード大会					
天王寺			令和7年度SSH生徒研究発表会	日本動物学会 優秀賞1	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	科学の甲子園 大阪府大会 2位入賞	日本数学オリンピック 96	AAA
			全国数学生徒研究発表会(マスフェスタ)	化学グランプリ 銀賞1、銅賞2	大阪府生徒研究発表会(第1部)	京都・大阪・マスインターセクション 優秀賞1、奨励賞1	化学グランプリ 70	
			日本生化学会近畿大会	化学工学会学生発表会 優秀賞1、奨励賞8	大阪府生徒研究発表会(第2部)	第3回関西電気化学研究会 ポスター賞1	日本生物学オリンピック 15	
			日本地球惑星科学連合2025		大阪府学生科学賞	日本情報オリンピック 優秀賞1、敢闘賞15	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 12	
			日本生物教育学会議第110回全国大会		大阪公立大学連携数学協議会第21回シンポジウム		日本情報オリンピック 102	
			科学地理オリンピック日本選手権(本選)				日本地学オリンピック 52	
			日本数学オリンピック(本選)				科学地理オリンピック日本選手権 127	
生野			令和7年度SSH生徒研究発表会	化学工学会学生発表会 奨励賞6	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	大阪府生徒研究発表会(第2部) 銀賞1	日本数学オリンピック 3	A
			全国数学生徒研究発表会(マスフェスタ)		大阪府生徒研究発表会(第1部)	科学の甲子園 大阪府大会 6位入賞	化学グランプリ 4	
			高校生・私の科学研究発表会		京都・大阪・マスインターセクション	大阪府学生科学賞 読売新聞社賞	日本生物学オリンピック 19	
			日本薬学会第146年会 高校生サイエンスフェスタ 研究発表会				日本学生科学賞出品数(出品数) 1	
三国丘			令和7年度SSH生徒研究発表会	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 銅賞1	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	大阪府生徒研究発表会(第2部) 優秀賞1、金賞1、銀賞1	日本数学オリンピック 16	B
			日経STEAMシンポジウム未来の地球会議		大阪府生徒研究発表会(第1部)	科学の甲子園 大阪府大会 5位入賞	化学グランプリ 26	
			第69回全国学芸サイエンスコンクール自然科学研究部門		京都・大阪・マスインターセクション	日本数学オリンピック 地区表彰2	日本生物学オリンピック 11	
			第43回高等学校・中学校化学研究発表会		大阪府学生科学賞		全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 10	
			日本生物教育学会議第110回全国大会		生徒生物研究発表会		日本情報オリンピック 10	
			日本金属学会2026年春季 第178回講演大会		スタートアップチャレンジ甲子園		日本学生科学賞出品数(出品数) 4	
			日本薬学会146年会高校生サイエンスフェスタ					
			FedEx / Junior Achievement International Trade Challenge					
			JA Travel and Tourism Business Program					
			全国高校生フォーラム					
			全国高校生・留学生作文コンクール					
岸和田			IIBC高校生エッセイコンテスト					AA
	Global Link Singapore 2025		令和7年度SSH生徒研究発表会	税に関する高校生の作文 大阪府租税教育推進連絡協議会長賞1、岸和田・貝塚地区租税教育推進協議会長賞1、岸和田税務署長賞1	グローバルリーダーズハイスクール(GLHS)合同発表会	大阪府生徒研究発表会(第2部) 優秀賞1、金賞1、銀賞2	日本数学オリンピック 8	
			日経STEAMシンポジウム未来の地球会議		大阪府生徒研究発表会(第1部)	大阪府学生科学賞 大阪府教育委員会賞1	全国物理コンテスト「物理チャレンジ」 2	
			日本小児精神神経学会	坊っちゃん科学賞研究論文コンテスト 奨励賞1	京都・大阪・マスインターセクション	日本学生科学賞 佳作4本・優秀作品賞1本	日本学生科学賞出品数(出品数) 4	
				JSEC高校生・高専生科学技術チャレンジ2025 佳作1				
				日本生化学会大会 銀賞1	パスタブリッジコンテスト		日本学生科学賞(発表者数) 12	
				スポーツ探究ピッチコンテスト 優秀賞1				

課題研究の取組（参考）

学校	科目名	学年	必修・選択の別	単位数	科目の概要	本年度特に工夫した点など	課題研究の特色
北野	文科課題研究	2年	文科必修	1	主に人文社会系の課題研究を展開し、すべて理科の生徒にも開放している	例年よりも大学等から多くのTAに指導、ご助言いただき、研究をより深めることができた	物理系・化学系などの一部の講座を除いて、文科・理科の所属に関係なく選択できる文理融合型となっている。また、SSH指定以降の積み重ねを基軸に、大学教授、企業経営者からのアドバイスを得ながら、アカデミックかつ多面的な探究を行っている。また、SSH+WW指定校としての経験や実績を生かし、国内に滞在中の留学生との交流や意見交換など、グローバルな視点の育成にも力点を置いている。
	理数探究	2年	理科必修	2	主に理系的分野の課題研究講座を展開し、一部文科の生徒にも開放している	例年よりも大学等から多くのTAに指導、ご助言いただき、研究をより深めることができた	
豊中	課題研究I	1年	必修	2	情報Iの内容と探究の手法の内容を扱う。		
	課題研究II	2年	理科必修	2	物理・化学・生物・地学・情報・数学・保健体育・連携(大工大との連携)の8分野に関わるテーマでの研究活動。	研究発表会で外部有識者と本校教員による評価を行った。優秀班は全校生徒の前で発表を行った。	1年次・3年次で文理共通のテキストを使うことで、課題研究の指導内容や指導方法を統一し、校内で文理共通の指導を実現している。 2年次の課題研究では今年度から文科と理科を同時併帯で実施している。文科・理科ともにフィールドワークまたは発表会での発表を必須としており、校外での学びを重視している。 校内でも大阪大学、大阪工業大学など様々な連携先から講師や大学院生を招き、外部との連携を図っている。教育目標に準拠した評価方法をとっている。
	課題研究II	2年	文科必修	2	人間科学・地域創生・異文化理解・国際関係の4分野に関わるテーマでの研究活動。	研究発表会で外部有識者と本校教員による評価を行った。優秀班は全校生徒の前で発表を行った。	
	課題研究III	3年	必修	1	パラグラフライティングを学習した上で2年次に執筆した論文をリライト。	動画教材を整備して、担当する担任の負担の軽減化を図った。	
	課題研究発展	3年	選択	1	2年次の研究を全国規模の発表会などにおいて発表し、研究を深化させる。		
茨木	IBARAMA I	1年	必修	1	探究の基礎として、情報処理、地域の調査による学習、地球科学を題材にした探究学習を実践的に学ぶ。	classroomを用い、過去の実践内容を共有するなど、過去から継続して指導することができた。	生徒達は、自らの興味関心に基づき希望した講座に所属し、チームで問いを設定してその課題の本質を追究し、結論を導き出してスライドを用いて口頭発表を行う。
	IBARAMA II	2年	必修	2	自分達が設定した問いを、実験や調査活動、文献調査等を重ねて解明して発表する。	スプレッドシート等を用い、各組のテーマやリサーチアクション等を班同士で共有することにより、お互いにアドバイス等しあうことができた。	講座やチーム単位で探究分野の専門家である大学教授等に指導を仰ぐほか、問題の本質に迫る方法の指導について、京都大学大学院文学研究科にご協力いただいている。
大手前	まこと	1年	必修	1	教科を超えた教員の指導により、文献調査を中心に課題研究基礎力を高める。	今年度より、文献購読、ミニ課題研究体験、テーマ設定法学習を軸に新たな「信念」を展開した。	
	のぞみ	2年	必修	1	数学的検証方法の習得と数学研究を通した論理的思考力の育成		
	サイエンス探究	2年	選択	1	生徒自身がテーマから設定し、大阪大学アカデミックライティング講座など専門機関の協力を得つつ高いレベルの研究を目指す。		本校課題研究の特色 ①全生徒課題研究による「文理融合型研究の実現」と「卓越性の追求」、②海外生徒との交流による「国際性の涵養」、③「数学の分野に特化した能力育成プログラムの推進」と「地域への還元」、④大阪大学との連携による「アカデミックライティングの実施」、⑤ライフサイエンス、サイエンス探究選択者を混合クラスとすることで、他分野への興味関心、刺激を与えあう環境を整えた。
	ライフサイエンス	2年	選択	1	リサーチアクションの設定から英語によるまとめまでを体験し、課題研究の方法を身につける。		
	サイエンス探究	3年	選択	1	生徒自身がテーマから設定し、専門機関の協力を得つつ高いレベルの研究を目指す。		
	ライフサイエンス	3年	選択	1	リサーチアクションの設定から英語によるまとめまでを体験し、課題研究の方法を身につける。		
四條畷	探究チャレンジⅠ	1年	必修	1	探究活動のプロセスを段階ごとに学習する学校設定科目。	教科書の変更に伴い授業内容を変更した。	
	探究チャレンジⅡ	2年	必修	1	自ら設定した課題について、探究活動を実施する学校設定科目。	研究活動を長く行えるように授業計画を改善した。	
	探究チャレンジⅢ	3年	必修	1	探究活動を振り返り、将来の学びについて探究活動を行う学校設定科目。	発表時間を長くし意見交換をする時間を持てるよう改善した	1年生では探究活動の基礎を学びながら、チームで身近な課題について取り組み、身近に潜む課題の原因を突き止めるWhyのアプローチか、その課題の解決方法を考えるHowアプローチかを決めて夏休みに中心に活動を行う。2年生では興味・関心で結びついたチームで、幅広い分野から自分たちの興味あるテーマをもとに活動を行う。計画から実験・調査までの過程をまとめてポスターに1中間発表会で発表する。2学期後半には選考会を行い、優れた研究チームは成果発表会にてプレゼンテーションを行う。3年生では、自分の興味関心と進路を結びつけ、卒業後の自分をイメージする活動を行う。
	探究情報	1年	必修	1	探究活動の基礎知識・技能で情報分野に関連する内容を扱う学校設定科目。	SSH第Ⅲ期の実施計画に基づき指導内容を改善した。	
	探究情報	2年	必修	1	探究活動の基礎知識・技能で情報分野に関連する内容を扱う学校設定科目。	SSH第Ⅲ期の実施計画に基づき指導内容を改善した。	
	探究情報	3年	必修	1	探究活動の基礎知識・技能で情報分野に関連する内容を扱う学校設定科目。	SSH第Ⅲ期の実施計画に基づき初めて実施した。	
高津	高津LCⅠ	1年	必修	1	課題研究基礎として課題研究を実施するための基礎知識や技能をOJTで学び、後期にSDGsをテーマとした研究と小論文作成を実施する。	後期に実施する課題研究体験に使用する探究ノートを再改定し、誰でも論理的文章構成ができるように工夫した。	
	高津LCⅡ文科	2年	文科必修	2	8科目(国語・社会・英語・音楽・家庭・保健・情報・地学)に分かれ課題研究を実施。中間発表、校内生徒研究発表会でその成果を発表した。	課題研究について、良かったことや反省点を上級生から伝えてもらう交流会を実施し、テーマの引継ぎや、先輩の反省点を自身の研究に活かすことができるようにした。 また、テーマ設定に期日を設け、調査・実験に係る時間的余裕を生み出した。	課題研究を全ての教員がすべての生徒に実施することを目指しており、指導するための共通教材を作成している。 特に、LCⅠでは本校だけではなく、どの学校でも使用できるような教材がパッケージとして完成しており、HPや他校教員との交流会等で広く公開・配布できるようにしており、HPも改修して利用状況を追跡してよりブラッシュアップできるようにしている。また、全ての生徒のニーズに合うよう、LCⅡではほぼ全ての科目で課題研究授業を開講し、文理選択と文理融合の研究を実施している。
	高津LCⅡ理科	2年	理科必修	2	9科目(物理・生物・化学・地学・数学・音楽・家庭・保健・情報)に分かれ課題研究を実施。中間発表、校内生徒研究発表会でその成果を発表した。	課題研究について、良かったことや反省点を自身の研究に活かすことができるようにした。 また、テーマ設定に期日を設け、調査・実験に係る時間的余裕を生み出した。	
	高津LCⅢ	3年	必修	1	2年次に実施した課題研究を論文にまとめる。	2年次の課題研究について、良かったことや反省点を下級生へ伝える交流会を実施し、自身の研究を振り返る機会を設けた。	
天王寺	創知Ⅰ	1年	必修	2	創知ⅠⅠでは探究活動の基礎を身につけ、プレ課題研究を実施。それを英語のポスターにして留学生相手に発表する。創知ⅠⅡでは情報分野を重視した授業を展開。	プレ課題研究において個人研究を追加し、生徒の主体性を強化した。	
	創知Ⅱ	2年	必修	2	創知ⅡD(0.5単位分)ではディベートを実施。創知ⅡK(1.5単位分)では課題研究を実施。	教員マニュアルの改訂、分野の見直し、教員研修の実施等。	1年間を通した課題研究／9クラス360人同時展開／コアチームとインテグチームに分けて実施／教員のバディ制／定期考査の実施 など
	創知Ⅲ	3年	必修	1	数学分野に特化した探究活動を実施。		
生野	探究Ⅰ	1年	必修	2	「大阪の〇〇×SDGs」をテーマとした課題研究を通して、問づくり、文献・論文調査方法、研究方法、レポート作成方法、エネルギー問題、生命倫理等について学習した。	課題研究と社会貢献の関係について講義およびグループワークを実施した。	探究Ⅰでは、教科学習との接続をはかりつつ探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通じて、自己の在り方や生き方を考えながら、よりよく課題を発見し、解決していくための資質能力を育成した。また、問づくりを利用したテーマ設定や文献調査、レポート作成や研究倫理、データサイエンスや生成AIの活用等の探究学習の手法について学ぶとともに、特別講義等により、探究学習と社会の関わりについても学んだ。
	探究Ⅱ	2年	必修	2	選択した教科・科目を主軸としつつ、教科横断型のテーマについて課題研究を行った。	データサイエンスや生成AIの導入を試みた。	探究Ⅱについては、探究Ⅰでの成果を活用しつつ、様々な事象に関わり、数学的な見方・考え方や理科の見方・考え方を組み合わせ、探究の過程を通して、課題を解決するために必要な資質能力を育成した。探究の過程においては学際的な視点を育みつつ、より高度な知識を活用しながら、各自の専門分野を主軸とした学習を行い、校内の発表会でその成果を普及した。
	探究Ⅲ	3年	選択	2	希望者が探究Ⅱの追加検証を実施した。	SSH生徒研究発表会や大阪府学生科学賞等の外部発表へ向けて、活動を深化させた。	探究Ⅲでは、探究Ⅱの研究テーマを発展させ、その成果を広く普及した。また、総合的な探究の時間における目標とも関連し、自己の在り方や生き方について探究した。
三国丘	Creative SolutionsⅠ	1年	必修	1	2年CSⅡの準備段階として、様々な基礎的知識、手法、考え方を身に着ける。	校内での担当者体制の変更。2年生発表の見学回数を増やした。	
	Creative SolutionsⅡ	2年	必修	2	グループでテーマを設定し、それに対して実験や調査、検証、考察を行い、一定の結論を得る	中間発表会を学校全体化した。教員全員が生徒の発表指導にあたるようにした。	12の分野で開講。探究活動において、担当教員はあくまで、主として活動生徒に伴走することを意識して行っており、高校生らしい地に足のついたテーマを取り扱っている。ティーチングアシスタントとして卒業生が一部分の探究の指導・評価に加わっている。また、探究活動の目的を「探究力」と「協働力」の育成と定めて、教科として深掘りするだけでなくフィードバック・リフレクションの技術向上を通して「関係の質（＝心理的安全性）」の向上にも注力している。
	Creative SolutionsⅢ	3年	選択	1	2年のCSⅡを受け、留学生に対する英語発表、外部コンテストへの出場など、外部に向けての発信を行う。	留学生交流会当日欠席の生徒にもALTの協力を得て、英語での発表と質疑応答を行った。	
岸和田	セレンディビティ	1年	必修	1	研究活動の基礎知識をつけ、研究課題の設定を行う。	テーマ設定の方法や教員の配置等を工夫した。	
	文理課題研究	2年	必修	2	研究課題を解決すべく活動をする。	全学年が関わる発表会を2度行った。	1年生から3年生までの系統立てられた研究活動のカリキュラムが整っており、学年全体で研究活動を実施している。 研究課題は生徒の興味・関心から設定することで、生徒が主体的に研究を行う環境を作っている。 「木曜の朝3学期同時展開」で課題研究を行っており、教員も科目に関わらずさまざまな研究テーマを担当し、多角的な視点からの研究支援を行っている。
	キャリアスタートゼミ	3年	必修	1	研究活動をまとめたり、論文を作成する。また、デジタルポートフォリオを作成する。	下級生に課題研究のアドバイスを伝える機会を2度設けた。	